

冬場のエネルギー価格の負担緩和に向けて ～ 省エネルギーの取り組みポイント、および 北ガス独自の「都市ガス料金の負担緩和策」～

2022年12月16日
北海道ガス株式会社

1. 「機能的で効果的な省エネルギー」の推進

◆北ガスはこれからも、お客さまとともに「省エネルギー」を進めてまいります

「省エネルギー」は、お客さまの負担緩和に加え、CO₂排出量の削減という観点からも重要な取り組みです。

I.

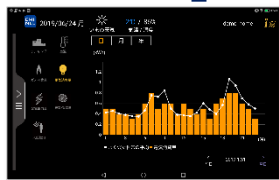
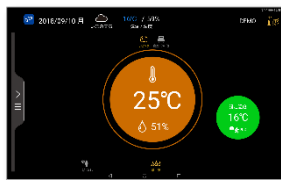
特に、カーボンニュートラル時代を見据え、CO₂排出を早期にピークアウトしていくためには、需要側で「省エネルギー」を進め、需要量を抑制していくことが取り組みの第一歩。

II.

需要側で必要なエネルギー量を小さくしていくことで、供給側で多様な再生可能エネルギーなどをバランスよくベストミックスしていくことがより可能となり、供給の選択肢を広げることに繋がります。

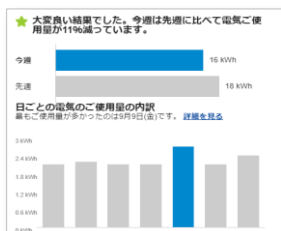
北ガスはこれからも、お客さまと双方向のコミュニケーションを図りながら、お客さまとともに「機能的で効果的な省エネルギー」を進めてまいります。

家庭用エネルギーマネジメントシステム「EMINEL」



暖房の省エネルギーに着目した北ガス独自開発システム

北ガス会員制Webサイト「TagTag」



省エネルギーアドバイスや、週次で電力の使用状況をお知らせ

今冬の「省エネ」を後押しする取り組み

・北ガス 節電キャンペーン



国・北海道の補助制度を活用

・冬のガス省エネキャンペーン



北ガス独自の取り組み

2. 国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」への参画

- 国の「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」（2022年10月閣議決定）にもとづく「電気・ガス価格激変緩和対策事業」が、2023年2月検針分から実施されます。※1
- 北ガスはこの事業に参画し、国が指定する値引き単価分を、お客さまの料金から値引きします。

概要	電気料金・ガス料金について、国の指定した値引き単価を、国の定める2023年2月検針分から値引き	
対象	・北ガスのガス（都市ガス、またはローリーによるLNG）をご契約のお客さま※2 ・北ガスの電気（低圧、または高圧）をご契約のお客さま※2	
期間	2023年2月検針分～2023年10月検針分※3	
国が指定する 値引き単価	ガス	・都市ガス：30円/m ³ ・ローリーによるLNG：36,466円/トン ※2023年10月検針分は、上記単価の半額
	電気	・低圧：7.0円/kWh ・高圧：3.5円/kWh ※2023年10月検針分は、上記単価の半額
値引き方法	調整単位料金を減額（Web明細や検針票に値引きの旨を記載）	
その他	お客さまによるお手続きや北ガスへのご連絡は不要	

※1 お客さまのご使用量に応じた料金の値引きを行った事業者に対して、国から値引きの原資を補填。

（金額は税込）

※2 国の規定により、下記のお客さまは対象外。

【ガス】・LPガスをお使いのお客さま

・年間契約量が1,000万m³以上（都市ガス）、8,226トン以上（ローリーによるLNG）のお客さま

・卸販売先のお客さま

・発電事業者のお客さま

【電気】・特別高圧をご契約のお客さま

※3 現時点では2023年10月検針分で終了。

3. 北ガス独自の「都市ガス料金の負担緩和策」について①

- 国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」にもとづく値引きは、2023年2月検針分からです。
- 一方、北海道では、1か月前の1月検針分から、暖房需要が大きく伸び、エネルギー需要のピーク期に入ります。
- こうした北海道の特性を踏まえ、需要が増加しはじめる1月検針分の都市ガス料金について、北ガス独自の「負担緩和策」を実施します。

北ガス独自の都市ガス料金の負担緩和策

概要	都市ガス料金の調整単位料金を値引き
対象	北ガスの都市ガスをお使いのお客さま※1
対象月	2023年1月検針分
北ガス独自の負担緩和策 (値引き単価)	都市ガス：10円/m ³
値引き方法	調整単位料金を減額
その他	・ローリーによるLNGのお客さまも値引きします（値引き単価12,155円/トン） ・お客さまによるお手続きや北ガスへのご連絡は不要

※1 下記のお客さまは対象外。

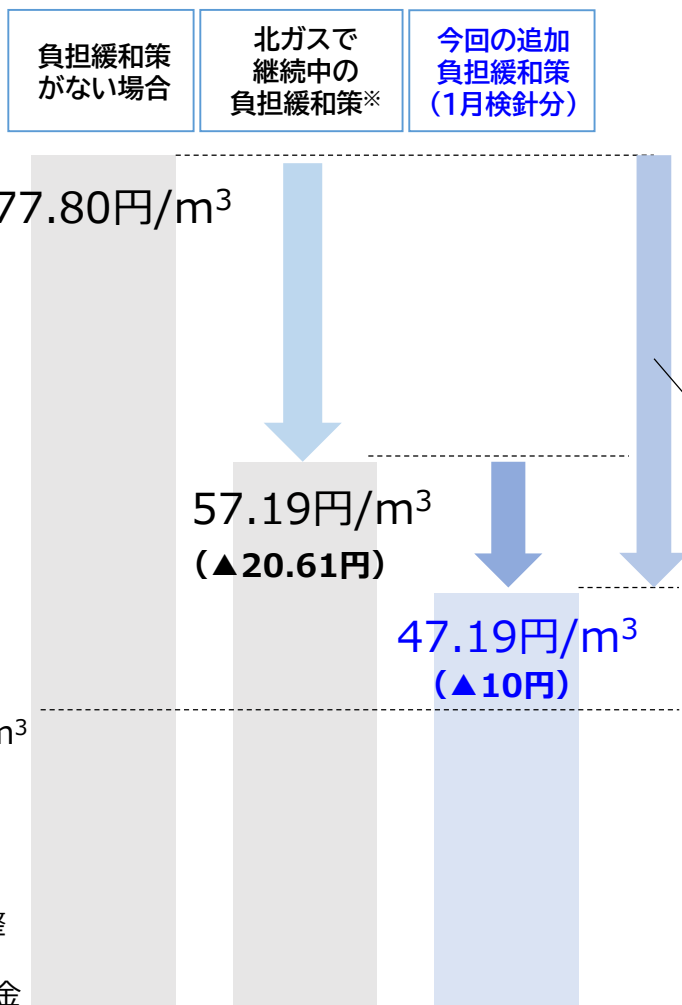
- ・LPガスをお使いのお客さま
- ・卸販売先のお客さま
- ・発電事業者のお客さま

(金額は税込)

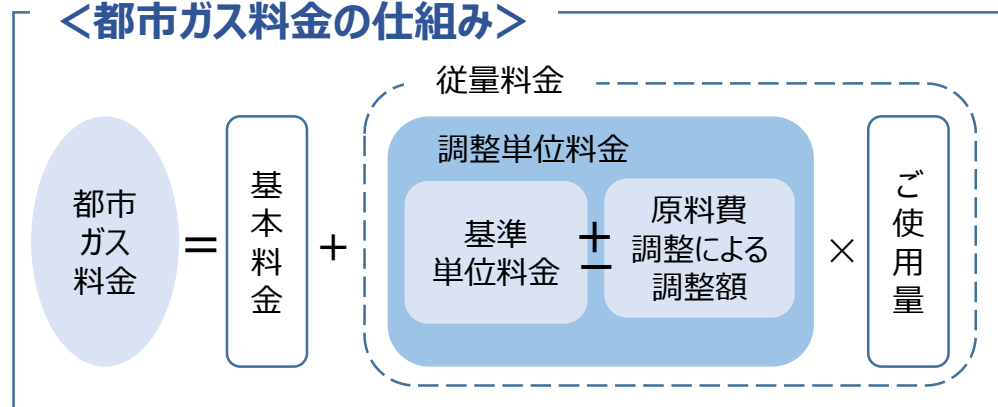
3. 北ガス独自の「都市ガス料金の負担緩和策」について②

値引きイメージ

(原料費調整による調整額：2023年1月検針分)



<都市ガス料金の仕組み>



・北ガスで継続中の負担緩和策※：▲20.61円/m³

・今回の追加負担緩和策：▲10円/m³

合計：▲30.61円/m³

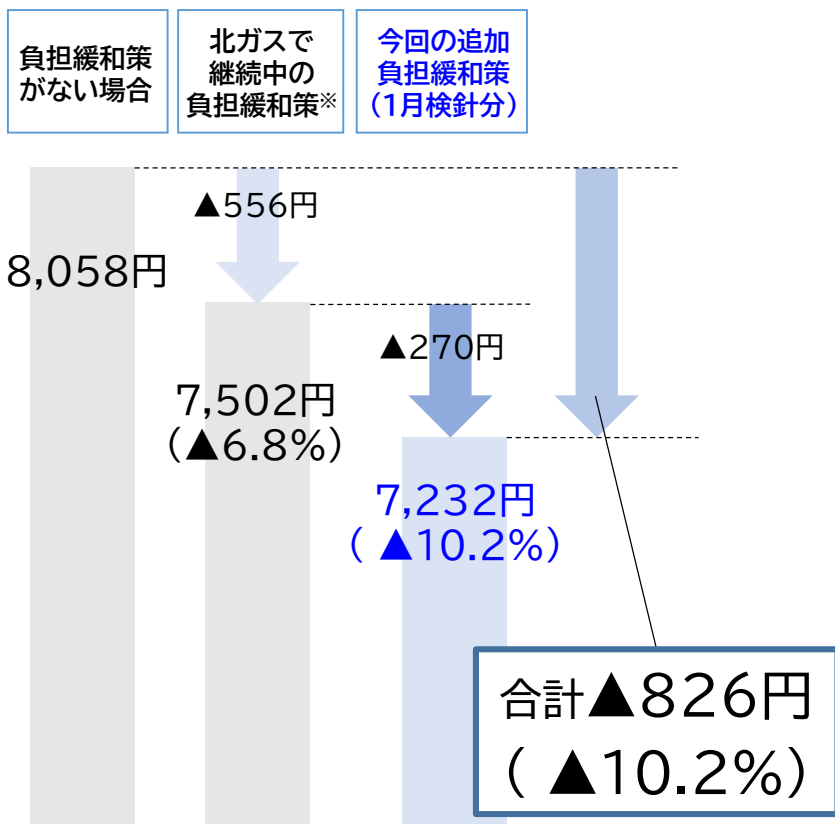
※原料費調整における平均原料価格の旧上限値超過分の50%を北ガスが負担（2022年10月検針分～2023年3月検針分）

●金額はすべて税込

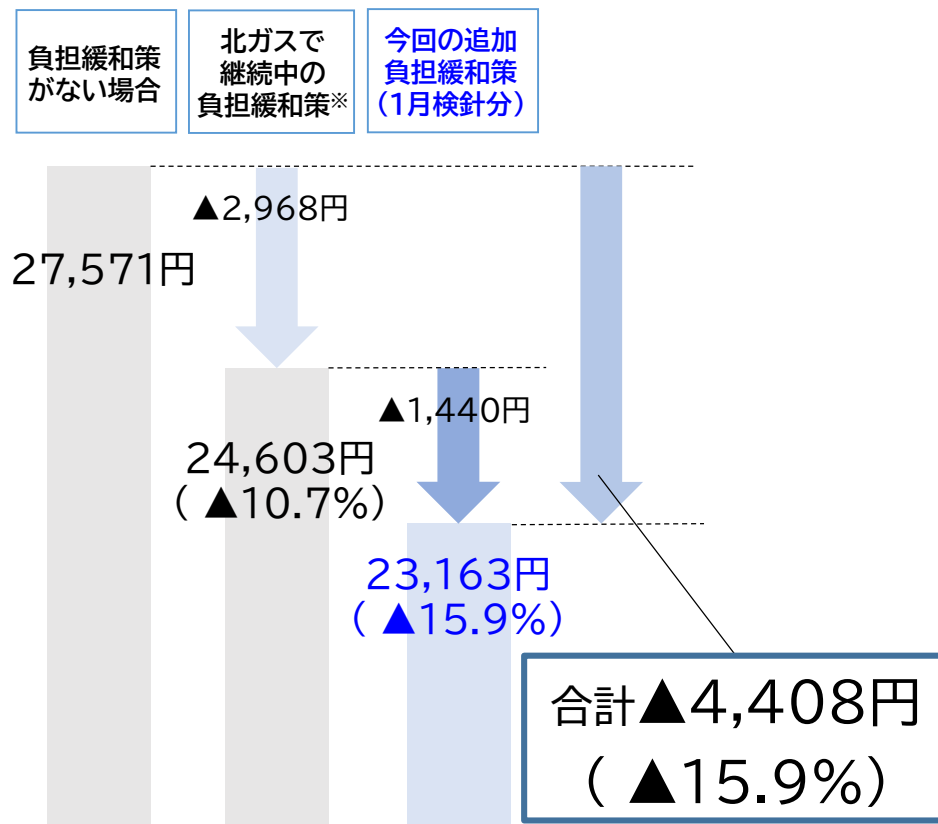
3. 北ガス独自の「都市ガス料金の負担緩和策」について③

お客さまの負担緩和イメージ（2023年1月検針分）

「一般料金」をお使いのお客さま
(厨房・給湯の平均的なガス使用量27m³の場合)



「ゆ〜ぬつく24ネオ」をお使いのお客さま
(ガスセントラルヒーティングの平均的なガス使用量144m³の場合)



※原料費調整における平均原料価格の旧上限値超過分の50%を北ガスが負担（2022年10月検針分～2023年3月検針分）

●金額はすべて税込

(参考) 北ガスで継続中の都市ガス料金の負担緩和策

- 北ガスは、冬季にエネルギー消費が増える北海道の特性を踏まえ、2022年10月検針分～2023年3月検針分まで、ガスの原料費調整における平均原料価格が、従来の上限値を超過した分の50%を、北ガスで負担する緩和措置を実施しております。



<直近7年間の平均天然ガス輸入価格と平均原料価格の推移>

※税込 (2019年10月～消費税率10%)

